

2007年4月15日12時19分ごろの三重県中部の地震について

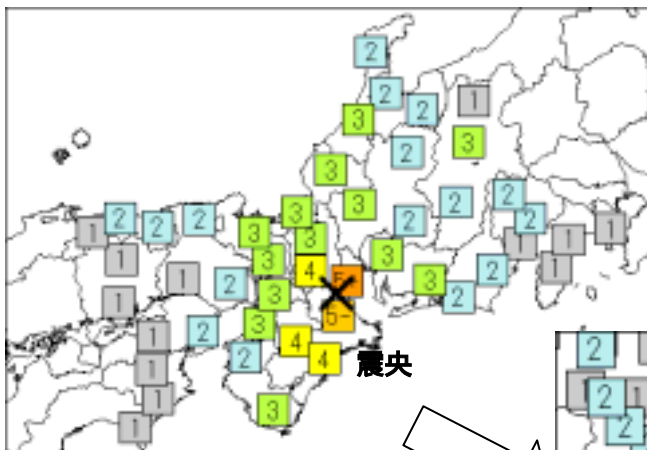
三重県亀山市で震度5強

4月15日12時19分ごろ、三重県中部の深さ16kmで、マグニチュード(M)5.4(暫定値)の地震がありました。この地震により、三重県亀山市で震度5強、三重県鈴鹿市、津市、伊賀市で震度5弱を観測したほか、東海・近畿地方を中心に、関東・中部地方から中国・四国地方の一部にかけて震度4～1を観測しました。この地震による津波の心配はありません。

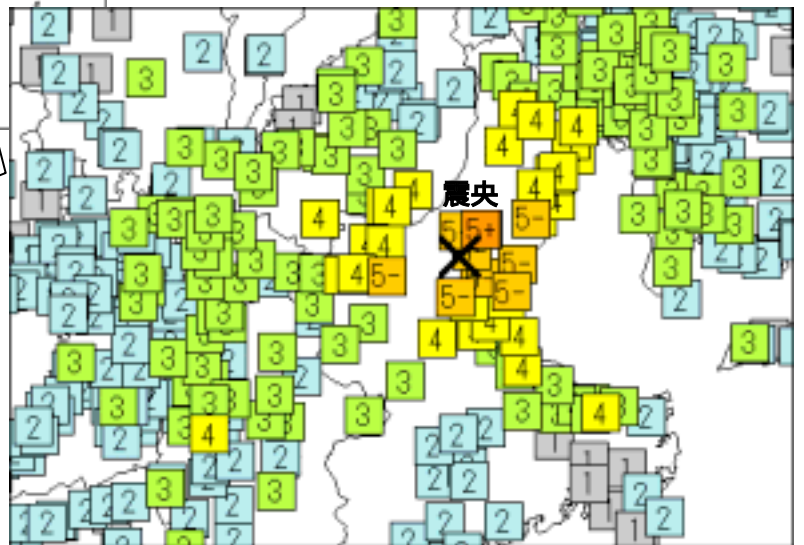
この地震の発震機構は、北東-南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で地殻内で発生した地震です。13時30分現在、震度1以上を観測した余震は1回です。

なお、三重県で震度5弱以上を観測したのは、2004年9月5日に発生した三重県南東沖の地震(M7.4)で、三重県津市などで震度5弱を観測して以来です。

揺れの強かった地域では、念のため余震に注意してください。



各地域の震度分布図

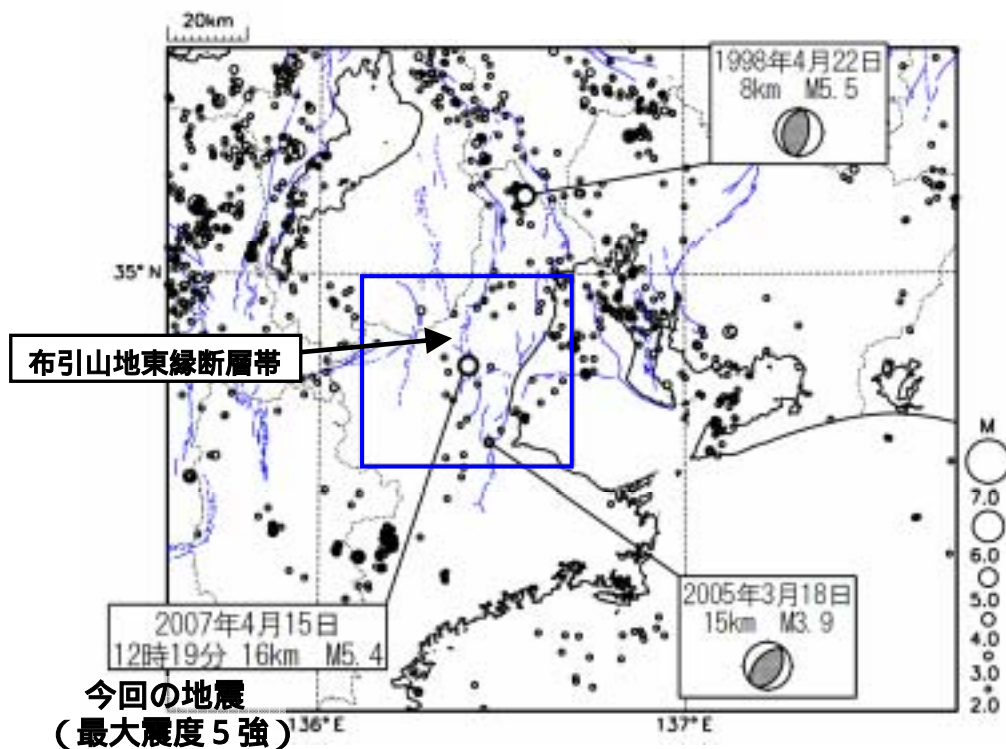


各観測点の震度分布図(震央近傍を拡大)

2007年4月15日 三重県中部の地震 (発生場所の詳細)

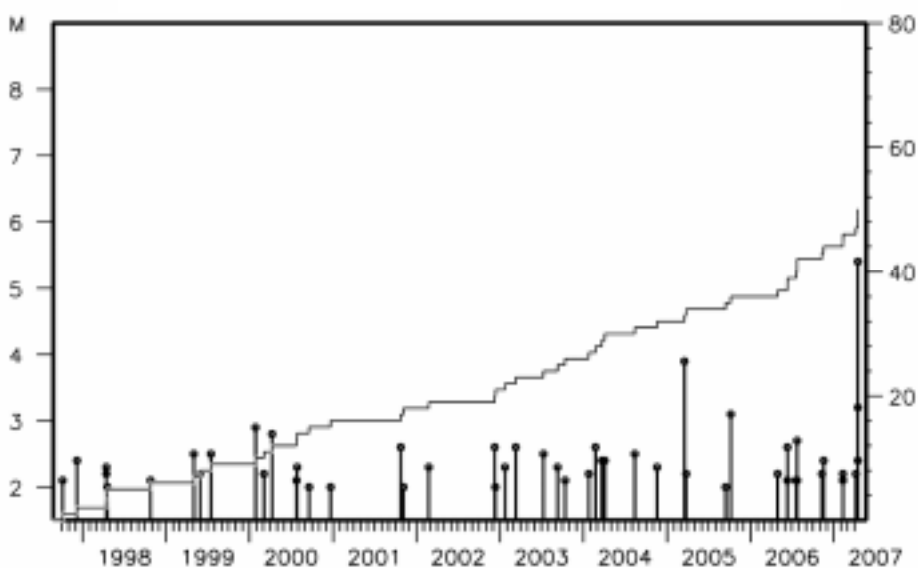
震央分布図

(1997年10月1日～2007年4月15日13時、深さ25km以浅、M2.0以上)



丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。

上図の矩形内の地震活動経過図、回数積算図

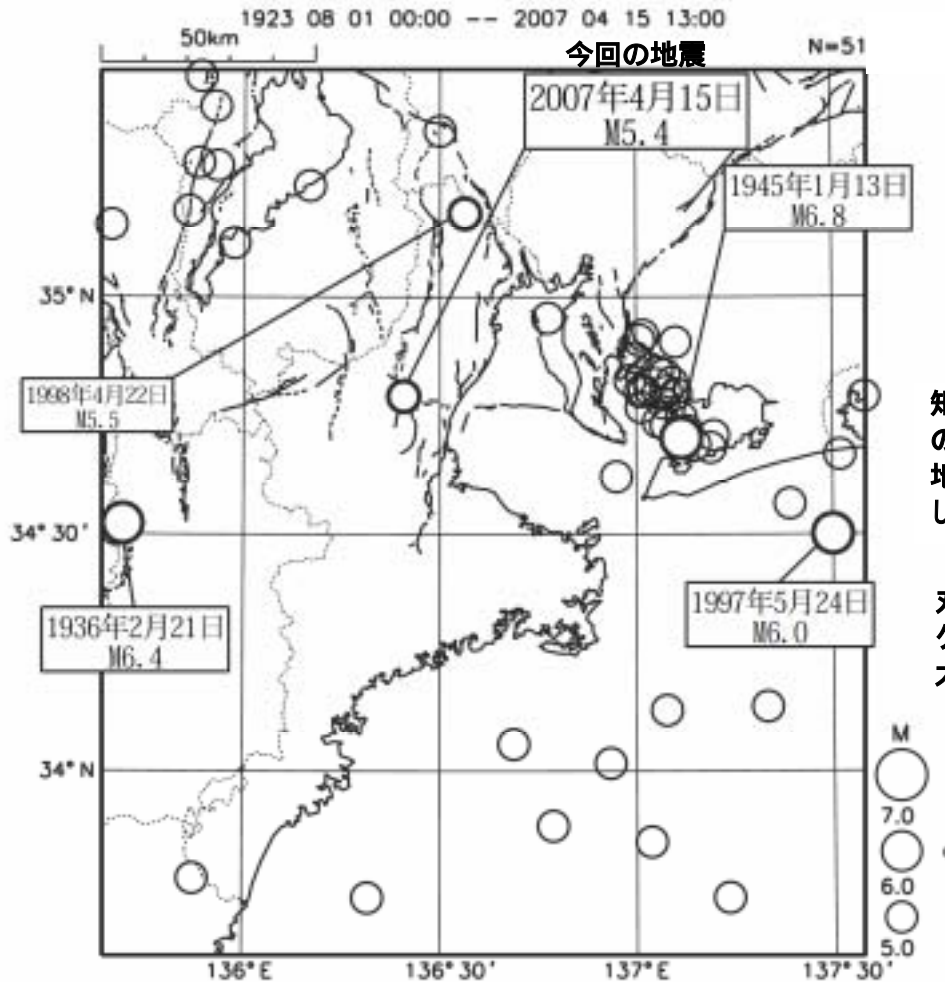


横軸は時間、縦軸は左がマグニチュード、右が地震の積算回数。折れ線は地震の回数を足しあげたものであり、縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。

2007年4月15日 三重県中部の地震 (周辺の過去の地震活動)

震央分布図

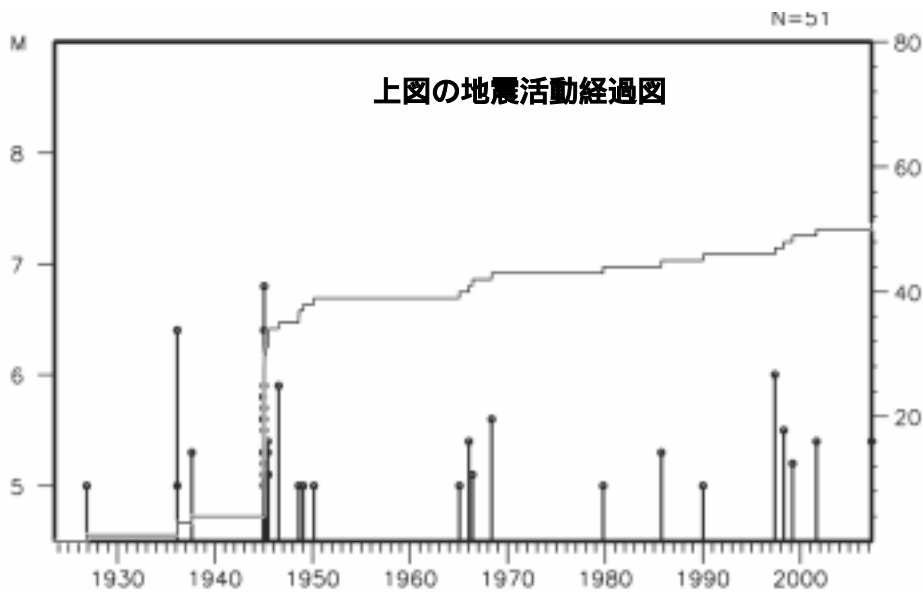
(1923年8月1日～2007年4月15日13時、深さ30km以浅、M5.0以上)



三河地震

矩形内のM6.0以上の地震及び近傍の地震を吹き出しで示している。

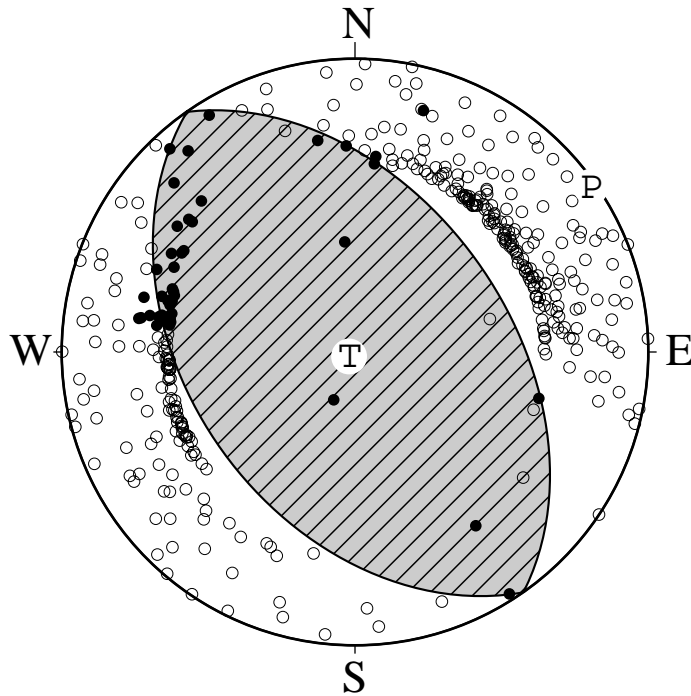
丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。



横軸は時間、縦軸はマグニチュードの大きさを表す。

発震機構解 [初動解] (暫定)

2007/04/15 12:19



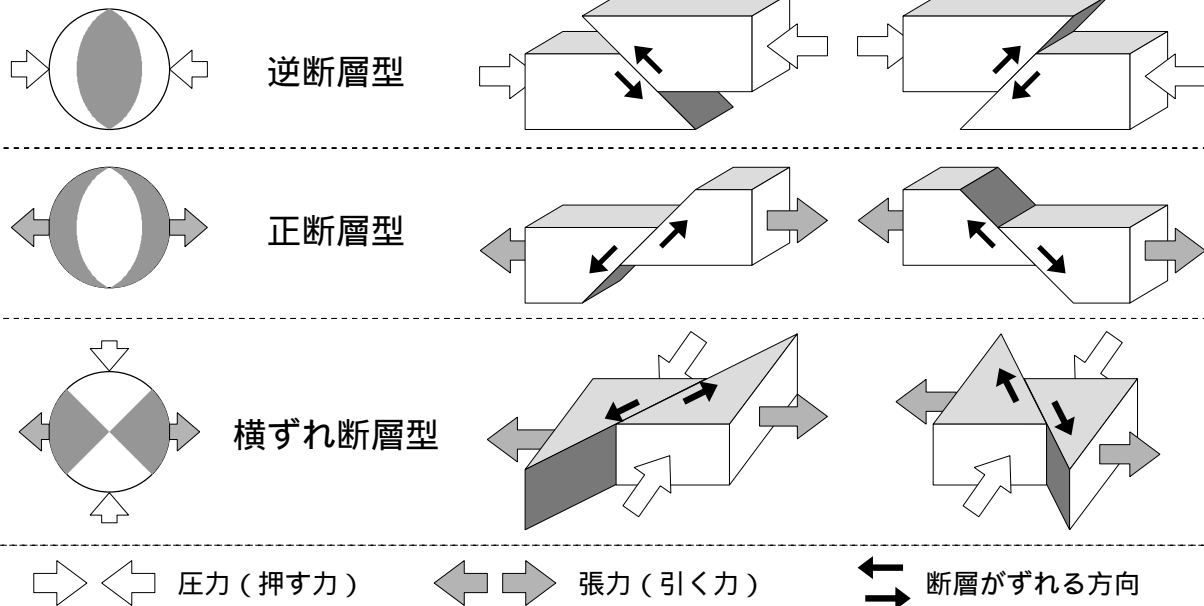
北東 - 南西方向に圧力軸を持つ逆断層型

● は初動が上向きの観測点、○ は初動が下向きの観測点を示す。
P は圧力軸、T は張力軸の方向を示す。(下半球等積投影)

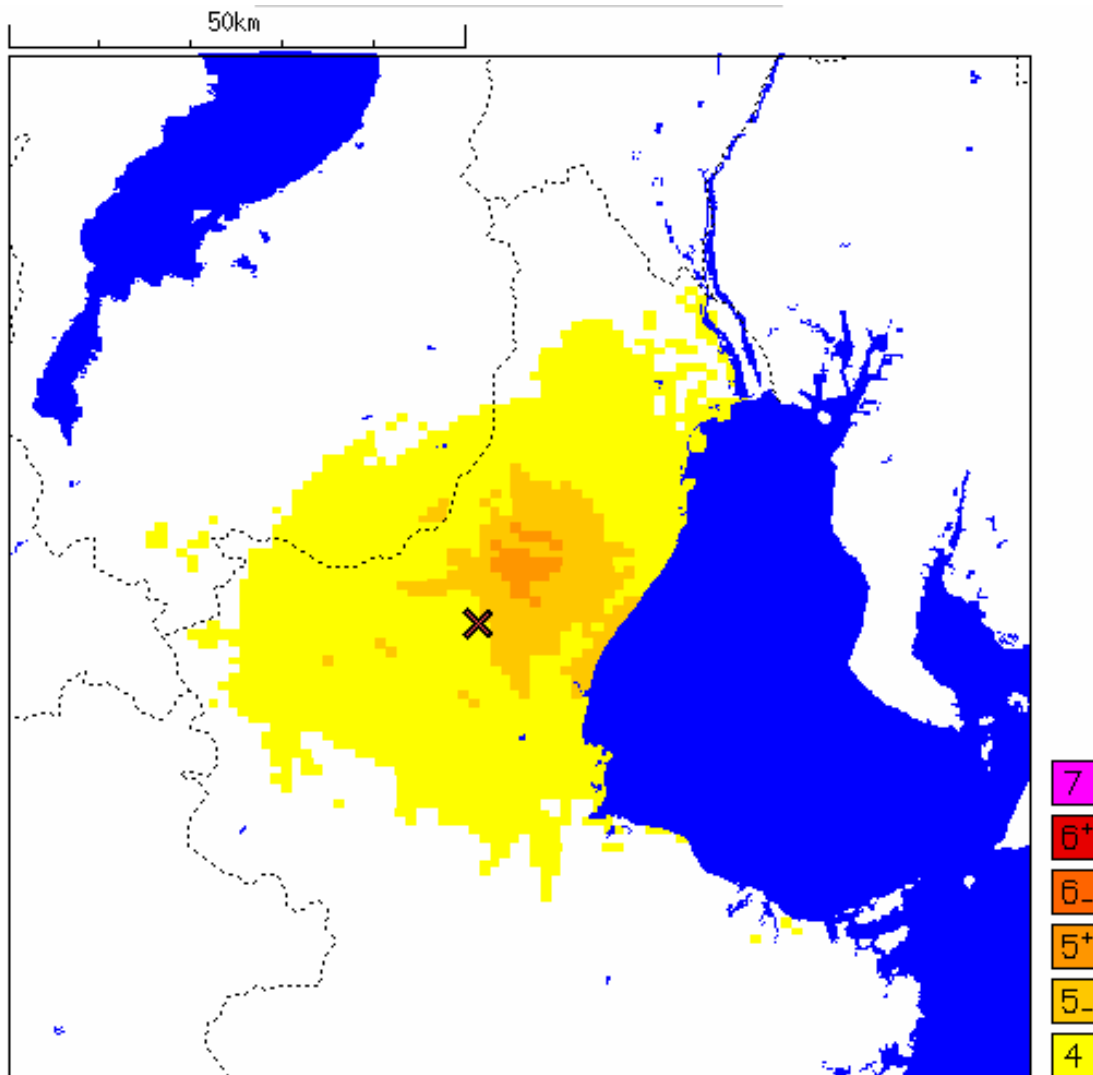
発震機構解 [初動解] について

地震波の初動方向は、地震時に働く力の向きにより異なります。
また、地震時に働く力の向きは、断層の型により異なります。
発震機構解は、これらの性質を用いて地震の初動方向から断層面を推定するものです。

以下に、発震機構解と断層の型の対応関係の典型的な例を示します。



2007年4月15日12時19分頃の三重県中部の地震（M5.4 深さ16km：暫定値）の推計震度分布図



〔解説〕

三重県北部から中部と、滋賀県の一部にかけて、震度4以上の分布が広がっています。

伊勢平野の中央付近に、震度5弱、一部では5強の分布がみられます。これらの地域では、物が倒れたり、ガラスが割れるなどの被害の発生が想定されます。

< 推計震度分布図利用の留意事項 >

個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目してご利用下さい。